

# 7

## 自然災害さいがいから人々を守る



わたしたちが住んでいる県では、どのような自然災害が起きてきたのでしょうか。また、自然災害にそなえて、どのような取り組みをしているのでしょうか。

↑大きなひがいを受けた宮城県石巻市みやぎけんいしのまきし

### 1

#### 自然災害から命を守る

##### つかむ

災害にはどのようなものがあるのでしょうか？

##### 🔍💡 見方・考え方のポイント

いつ起こるかわからない災害にそなえて、どのようなことができるか考えよう。

#### 東日本大震災だいしんさい

2011(平成23)年3月11日、大きな地震へいせいが起こりました。東日本大震災とよばれる災害です。東北地方や関東地方を中心とする広い地いきに津波しんがおしよせ、多くの人々の命がうばわれ、土地や建物にとっても大きなひ害たてを残しました。



宮城県石巻市は、滋賀県草津市から約840kmもはなれています。遠くはなれた地いきで起こった災害ですが、草津市は給水車（水を運んだり配ったりできる車）を出発させました。東日本大震災が起こった次の日のことでした。たいへん寒い季節でしたが、1か月にわたって水をとどけ続けました。



↑ ひがいの様子

### 現地で活動した職員の方の話



給水作業をしているときに、お年よりを助ける若者を見かけました。また、食べ物が少ないのに私にゆずってくれた人もいました。人のやさしさ、みんなで助け合うことのすばらしさをとても強く感じました。

石巻に加えて、岩手県大槌町・福島県小野町・石川町・三春町へもひ害を受けた住民のみなさんの支援活動にあたりました。



↑ 草津市のしよく員の様子

滋賀県は、周囲に海がありません。そのため、津波の心配は、海が近くにある都道府県よりも少ないと考えられます。しかし、過去には伊吹山地（米原市）にたくさんの雨が降ったため、姉川（長浜市）が増水したこともありました。



↑ 姉川が増水した時の様子  
[難波橋下流：H29.8.7～8]





↑ ひなん場所のかん板



↑ 防災びちく倉庫



↑ 仮設トイレ



### 防災倉庫

地いきの防災のそなえとして、毛布やトイレなど必要なものが保管されている。



↑ 屋外スピーカー

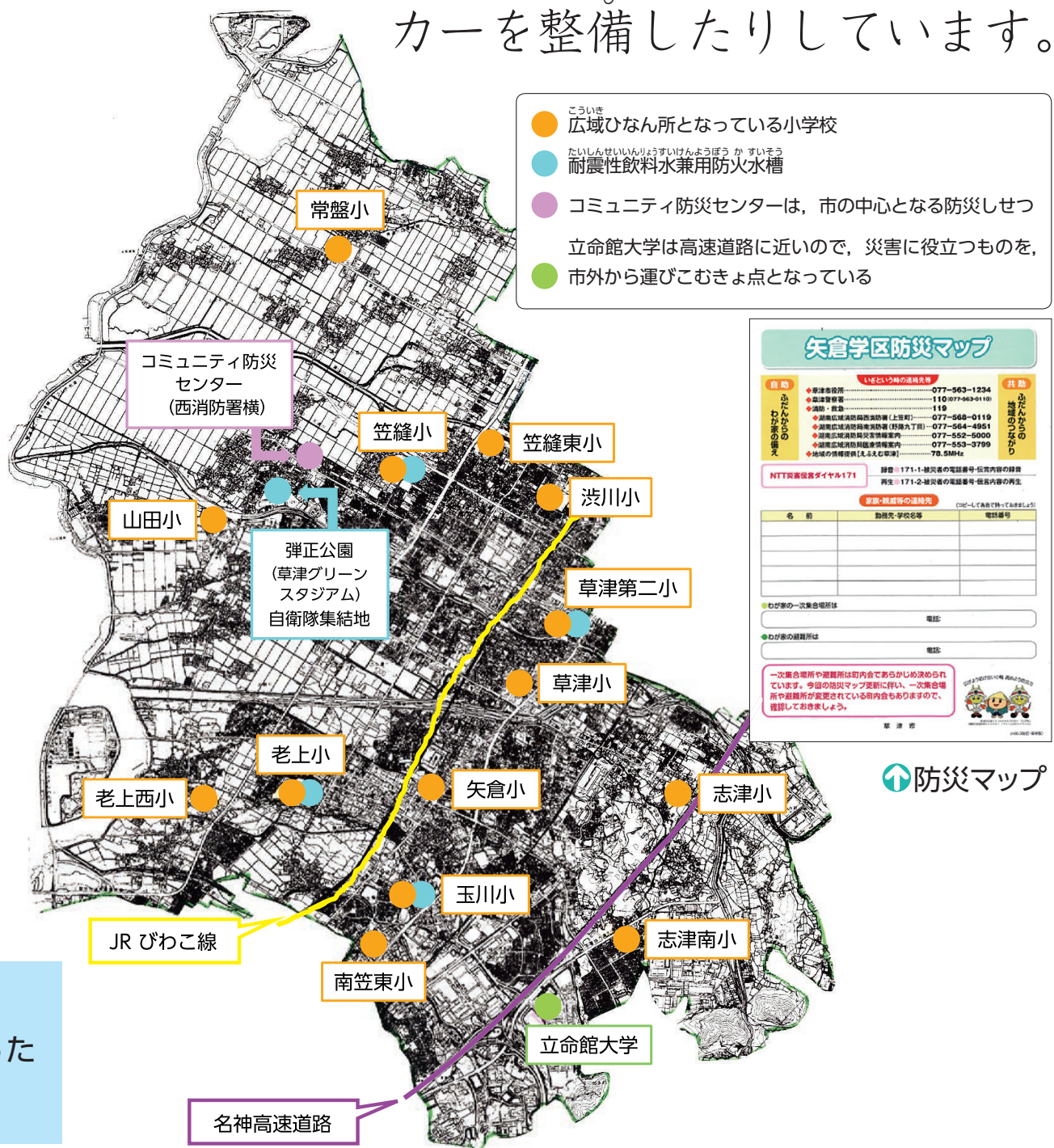
### 調べる

草津市での災害にそなえるための取り組みを調べましょう。

## ぼうさい 防災にかかわる草津市の取り組み

また、滋賀県には断層があり、地震、台風や大雨、土しゃくずれなどの自然災害が、いつ発生するかわかりません。わたしたちも、いつ起こるかわからない災害に対して、そなえておく（じゅんびしておく）ことがとても大切です。

草津市では、災害にそなえてひなん場所を決めたり防災びちく倉庫や屋外スピーカーを整備したりしています。



↑ 防災マップ



## くさつ ぼうさいくんれん 草津市防災訓練

草津市では、「命を守る行動」を自分で考えてできるようになるために、町内会を中心に多くの方が防災訓練に参加しています。

### 〈訓練内容〉

- ①学校などの広域ひなん所へのひなん訓練
- ②グラウンドでの放水訓練
- ③救助救急訓練
- ④トイレ設置訓練
- ⑤器具設置訓練・給水訓練
- ⑥かまどベンチでのたき出し訓練
- ⑦給食配給訓練
- ⑧ひなん所運営訓練



↑地域住民も参加しての救助救急訓練

これらの訓練を行うことで、小学生のあなたにできることがあるということを感じてほしいです。

## 市内いっせい防災行動訓練（くさつシェイクアウト）

この訓練は、「その場 そのまま そのときできる」市内いっせいの防災行動訓練です。平成26年(2014年)に、県内ではじめて取り組みました。

地震がおこったという設定で、市内いっせいによびかけの放送とサイレン音が鳴り、最初の1分間「まず低く、頭を守り、動かない」ということをみんなで行いました。いざというときに、自分の命を守るためにどう動けばよいか、みんなを考えていくための訓練です。



↑草津グリーンスタジアムでの訓練の様子



## 防災計画

地震や風水害など、さまざまな災害が起きたときにどのように対応するかをあらかじめ決めたもの。



## 防災訓練

地震や風水害など、さまざまな災害が起きたときにそなえて行われる訓練のこと。



↑水消火器を使った消火訓練



↑だんボールを使ったひなん所宿はく体験



↑グラドン号での地震体験

## 地いきでの取り組み

草津市では、災害にそなえる地いきの取り組みをおうえんしています。自分の地いきでは、どんな取り組みをしているか調べてみましょう。

### ひなん所宿はく体験に参加した人の話



だんボールベッドのねごこちはよかったけど、実際に災害が起きたら長い間になるから、大変だと感じました。でも、防災の学習は大切だと思います。

実際に災害が起きたら、どうしたらよいか考えるために、授業で防災学習を進めています。地いきの防災の取り組みにもすすんで参加しましょう。

### ● 災害がおきたら

まず、「自分の命を守る」ための行動を考えます。次に、まわりの人たちの命が安全かどうかをたしかめます。そして、正しい情報を受け取ることと、その情報をもとにしてあわてずに行動することがとても大切になります。

家の人と、地震にそなえてできることを話し合ってみよう。

## 災害から命を守る取り組みをまとめる

学習をふりかえり、調べた取り組みについて話し合しましょう。また、草津市役所の防災に関するホームページを見たり、「草津市防災ハンドブック」を読んだりしながら、自分たちにもできることを考えましょう。

### 表現する

災害にそなえるために、自分たちに何ができるのかを考え、まとめましょう。

だれが	どのようなことができるか、どのような取り組みをしているか
自分や家族	
住んでいる地いき	
市や県、国	
その他関係機関	